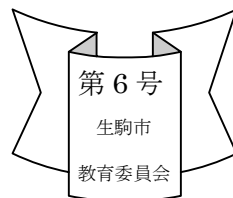




懇話会だより



6月20日(木) 第5回懇話会

市教委が提案した北小中一貫校の教育ビジョンと、保護者説明会でのアンケートをもとに、話し合いが行われました。



先月は、自治会代表が富雄第三小中学校の自治連合会会長から聞いた「自治会として小中一貫校設立にどのように関わってきたか」についての報告がありました。そして、今回の懇話会では保護者代表から小中一貫校連絡会「iどばた会議」の立ち上げについての報告がありました。

小柳座長は「昨年12月に始まったタウンミーティングから約8か月を経た今、皆さんがそれぞれの会の代表者として懇話会に参加し、その活動が着実に動いていると感じています。このような地域住民や保護者の姿に、小中一貫教育懇話会が前向きに進展していることを感じます。」と述べておられます。

1、5/12 と 6/5 の保護者説明会時のアンケートから

◎保護者の意見が「なぜ、ここ高山地区で小中一貫校なのか」ではなく、「小中一貫校になればどうなるのか」「こういう小中一貫校にしたい」という内容に変わってきた。時間の経過とともに、保護者が小中一貫教育、小中一貫校を受け入れる気持ちになってきている。(懇話会参加者)

アンケートで出た疑問を市教委は集約し、その答えを一覧にして分かりやすく整理してほしい。

それがあれば、「小中一貫教育 Q&A」集として他の会合でも活用したい。

疑問に対する答えを出していきます。

(生駒市ホームページ 第5回懇話会議事録に掲載しました。)



◎去年10月のタウンミーティングから始まった小中一貫教育の説明に対し、当初は保護者の理解が少なかった。それが、5月と6月の保護者説明会を経て理解が少しずつ深まってきたように感じる。そこで小中一貫校連絡会「iどばた会議」を立ち上げた。(懇話会参加者)

「iどばた会議」(小中一貫校連絡会)

小中一貫校について、幼稚園や保育園、普賢寺小学校、生駒北小学校、生駒北中学校の保護者が気軽に話をするができる場。一貫校への理解を深め、情報交換や意見交換、先進校の視察と交流、アンケート調査などを行う。

「i どばた会議」について・・・



4日間で40人の保護者から意見を聞いたようですが、保護者同士が顔を合わせることで不安を解消しようとしているんですね。(座長)

力強い応援団ですよ。(懇話会参加者)

北中校区 8つの自治会で小中一貫校について話し合い、地域で学校を支えること、生徒が減る中で魅力ある学校を作りたいということで意見が一致しました。(懇話会参加者)

保護者が情熱的でいいですね。新しい学校文化を創り、教育の質を変え、学校と地域と保護者がともになって小中一貫校を作るという発想がないとだめですよ。不可能を可能にするという意気込みを持ちましょう。(懇話会参加者)

2、生駒市小中一貫教育のイメージについて

市教委は「小中一貫教育のイメージ」として資料を提出しました。目指すのは、地域の「伝統」と「先進」に基づいた魅力ある学校です。このことについては次回も話し合う予定です。

<子どもたち>

- ・奈良教育大学と連携した学力補充の取組
- ・奈良先端大と連携した理数教育の推進
- ・茶釜作りなどの地域学習
- ・3年生からの系統的な英語学習
- ・部活動に5年生から参加できる等、小中合同の活動や行事による豊かな人間関係づくり
- ・・・などの魅力あるカリキュラムで学習

<先生>

小中教員協働により、教科指導や生徒指導等、指導力の向上をめざす。

<地域>

学校と地域、地域住民同士の交流の場としての学校をめざす。



- ・9年間を見通したビジョンなので、今後小中学校間で話し合いたいです。
- ・今の学校体制でもできることと小中一貫校になることでできることを明確にしてもらいたいですね。
- ・地域住民からなる学校評議員会をグレードアップさせて、チェック機能を持つ運営をしたいです。
- ・市が出したこの案を練って、肉付けしましょう。特に今、地域の絆が薄れていると言われていたので地域コミュニティについて検討していくことが大事です。



生駒市ホームページには第5回懇話会議事録を掲載しております。小中一貫教育懇話会のページは以下のとおりです。

<http://www.city.ikoma.lg.jp/kashitsu/15200/03/01.html>

今後の予定は、

- ・7/4 (木) 先進校視察 (京都大原学院)
- ・7/25 (木) 第6回懇話会 (生駒北小学校多目的室 19:00~21:00) で、懇話会は傍聴可能です。